

職業実践専門課程として認定する専修学校の専門課程の推薦について

文 部 科 学 大 臣 殿

平成29年10月31日

下記の専修学校の専門課程を職業実践専門課程として認定する課程として推薦します。

記

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
ビジュアルアーツ専門学校	昭和47年4月1日	村中 修	〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-23 (電話) 06-6341-4407				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 Adachi学園	昭和43年5月14日	安達 暁子	〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-9 (電話) 06-6344-3931				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士		
工業	映像・音響専門課程	ミュージシャン学科		平成6年文部科学省 告示第84号	-		
学科の目的	高度なポピュラー音楽で使用される楽器の演奏技術と表現を学び、音楽業界等多方面で活躍する人材を育成する。						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1920時間	512時間	時間	1408時間	時間	時間
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	50人	0人	1人	13人	14人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 課題評価。試験等評価により		
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月17日～9月2日 ■冬季:12月25日～1月6日 ■春季:3月11日～3月31日			卒業・進級 条件	卒業条件:規定単位取得及び卒業課題等に合格し、且つ学費の完納者 進級条件:卒業見込者		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人のカウンセリング・保護者との連絡・ 連携により対応を行う			課外活動	■課外活動の種類 エクステンション講座、合宿、学校祭等 ■サークル活動: 無		
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) (株)ワイドウィンドウズ、TOWER RECORDS(株)、その他			主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 特になし		
	■就職指導内容 キャリア教育の実施、履歴書作成アドバイス、面接対策、 各種イベント				■自由記述欄 特になし		
	■卒業者数	25	人				
	■就職希望者数	9	人				
	■就職者数	9	人				
	■就職率	100	%				
■卒業者に占める就職者の割合	:		36	%			
■その他							
中途退学 の現状	■中途退学者 8 名 平成28年4月1日時点において、在学者52名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者44名(平成29年3月31日卒業者をを含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、病気療養、進路変更、家庭の事情等 ■中退防止・中退者支援のための取組 欠席者へ日々の連絡、学校行事(合宿、学校祭、球技大会等)への参加促進			■中退率	15%		
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 校友会奨学金制度、AO特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・[非給付対象] ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/						
当該学科の ホームページ URL	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

社会が求めるニーズを敏感に読み取り、即応するカリキュラム編成とした実践教育を行うことを旨とする。業界の今を的確に捉え、求められる知識、技術の育成に力点をおき学ぶことで、社会と直結した教育機関のあるべき姿を具体化する。教育効果を客観的視点で評価し、改善の方法を探るための評議の場を設ける。本方針を共有できる企業との連携を力強く緊密に行い、業界の状況に即した弾力的なカリキュラム編成とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

ビジュアルアート専門学校 校長が中心となり、設置学科の各分野に係る企業や業界団体・有識者から選出した委員会を設置。教育課程編成委員会の意見は校長及び配下の学科長を通じ各学科で具体化を行う。「⑤学校又は法人の組織図」を参照願います。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
清原 克哉	関西映像プロダクション協会	平成27年4月1～ 平成31年3月31日(4年)	①
藤井 卓	株式会社 タック	平成29年4月1～ 平成33年3月31日(4年)	③
三好 和也	有限会社 ちゆるんカンパニー	平成26年4月1～ 平成30年3月31日(4年)	③
小野 慎也	株式会社 東通インフィニティー	平成27年4月1～ 平成31年3月31日(4年)	③
徳永 真	株式会社 大阪タレントビューロー	平成27年4月1～ 平成31年3月31日(4年)	③
金澤 徹	成安造形大学	平成29年4月1～ 平成33年3月31日(4年)	②
村中 修	ビジュアルアート専門学校 校長		
細谷 逸人	ビジュアルアート専門学校 キャリアセンター 室長		
奥村 淳	ビジュアルアート専門学校 放送・映画 学科長		
小田 友則	ビジュアルアート専門学校 音響芸術 学科長		
塚本 武	ビジュアルアート専門学校 映像・音響 学科長		
浦芝 眞史	ビジュアルアート専門学校 写真 学科長		
松浦 達也	ビジュアルアート専門学校 声優 学科長		
持永 修	ビジュアルアート専門学校 ミュージシャン 学科長		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時) 開催は年2回

第1回 平成29年3月 9日 10:00～12:00(年度授業終了期)

第2回 平成29年9月12日 18:00～20:00(前期授業終了期)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

基本方針に即し、とりわけ学科の教育目標、育成人材像が業界のニーズに対応できているか、カリキュラムは体系的に編成され、各教科目はカリキュラムの中で適正な位置付けされているか、卒業者就職率・求職者就職率・専門業界就職率の向上が図られているかなどの点を学校関係者評価委員から評価を頂き、概ね問題点はなかった。しかし現場が要望する人材の部分に関して人間力の向上が急務との意見があり、キャリア授業を導入し社会人教育を実施する予定。

* 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程

* 教育課程編成委員会等の規則

* 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1

* 学校又は法人の組織図

* 教育課程編成委員会等の開催記録

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現在の業界におけるスタンダードな技術を習得する事を目的とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業より現場で必要とする技術を含んだ楽曲制作の課題を頂き、学生はその課題を製作する。製作された作品を連携企業が審査・評価。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
コンピュータ実習Ⅰ	近年の音楽制作に必修となるコンピューターと専門ソフトの使用法を制作実習も兼ねて学ぶ。	グローブ・エンターブレインズ
コンピュータ実習Ⅱ	近年の音楽制作に必修となるコンピューターと専門ソフトの使用法を制作実習も兼ねて学ぶ。	グローブ・エンターブレインズ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「⑧研修等に係る諸規定」により、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を、企業様との連携にて行っている。学生を交えた講演会も定期的に行っている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

テーマ1-1 アーティスト写真撮影におけるフォトメイク技術研修

講師 吉岡 満 氏 株式会社スタイルオフィス 代表

日時 2016/5/25 (水)13:30~16:30

内容 宣材写真、ポスター撮影時に、アーティストのアピールするポイントによりメイクを変えてゆくメイクテクニックの研修。

テーマ1-2 ライブステージにおける衣装&ステージメイク技術研修

講師 吉岡 満 氏 株式会社スタイルオフィス 代表

日時 2016/10/26 (水)13:30~16:30

内容 ステージ演奏時に必要な衣装とステージメイクの基本知識の研修。

テーマ2-1 弦楽器メンテナンスの技術指導研修

講師 金谷 昇治 氏 金谷光輪株式会社

日時 2016/5/27 (金)13:30~16:30

内容 日頃から行う弦楽器のメンテナンスの基礎知識の研修

テーマ2-2 弦楽器メンテナンスの技術指導研修

講師 金谷 昇治 氏 金谷光輪株式会社

日時 2016/10/28 (金)13:30~16:30

内容 弦楽器のメンテナンスや、トラブル時の対応などの技術研修

②指導力の修得・向上のための研修等

発達障がいシンポジウム 世界自閉症啓発デー in Osaka2016

対象:教職員 内容 発達障がいについての理解を深め教育現場に活かす

日程:平成28年4月7日

キャリアカウンセラー 吉中三智子氏による講演会受講

対象:教職員 内容 学生支援とコミュニケーションについて

日程:平成28年7月29日

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

テーマ1-1 アーティスト写真撮影におけるフォトメイク技術研修

講師 吉岡 満 氏 株式会社スタイルオフィス 代表

日時 2017/6/5 (月)13:30~16:30

内容 宣材写真、ポスター撮影時に、アーティストのアピールするポイントによりメイクを変えてゆくメイクテクニックの研修。

テーマ1-2 ライブステージにおける衣装&ステージメイク技術研修

講師 吉岡 満 氏 株式会社スタイルオフィス 代表

日時 2017/10/23 (月)13:30~16:30

内容 ステージ演奏時に必要な衣装とステージメイクの基本知識の研修。

テーマ2-1 弦楽器メンテナンスの技術指導研修

講師 金谷 昇治 氏 金谷光輪株式会社

日時 2017/6/9 (金)13:30~16:30

内容 日頃から行う弦楽器のメンテナンスの基礎知識の研修

テーマ2-2 弦楽器メンテナンスの技術指導研修

講師 金谷 昇治 氏 金谷光輪株式会社

日時 2017/10/27 (金)13:30~16:30

内容 弦楽器のメンテナンスや、トラブル時の対応などの技術研修

②指導力の修得・向上のための研修等

精神面で弱い学生が増えていることに対し、プロのカウンセラーに対応策を教授していただく。また、就職指導の強化のため、キャリアカウンセラーの講演等を前年度に準じて実施する。

・外国人留学生就職指導担当者研修会 日程:平成29年4月28日(金)

東京外国人雇用サービスセンターが主催。外国人留学生の就職指導を担当する学校関係者に向けた、日本で外国人留学生が就職活動を進める上での注意点についての研修会である。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校自己評価や日常の学校教育に対しての評価・意見内容を教育活動面と学校運営面に分別し、学務・広報・事務の三位の各部門で運営方針に照らし協議・検討する。その結果、授業内容に取り入れたり、改善・修正を要するとした場合は、部門よりを責任者会議に具体的な稟議提案を上申し、最終的判斷することによって、学校関係者評価の効果的な活用を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学園の理念、学校の目的・特色の明確化と育成する人材像
(2)学校運営	運営方針に即した事業計画が策定、運営組織の意志決定機能の円滑化と適切
(3)教育活動	職業教育に適するカリキュラムの策定に際し、その学科の関係する業界との密な連携とそれに対応する教職員の能力開発・研修
(4)学修成果	学校継続率、就職率の向上
(5)学生支援	在学生への経済的・健康管理・生活全般への支援体制並びに卒業生支援の整備
(6)教育環境	授業運営上の付属施設、設備、実習施設の環境及び防災体制の整備
(7)学生の受入れ募集	学生募集全体の適正と活動上における教育成果の正確な伝達の確認
(8)財務	予算・収支計画の有効性と財務面の適正
(9)法令等の遵守	法令の遵守、個人情報取り扱い確認
(10)社会貢献・地域貢献	校舎周辺の定期的な清掃活動
(11)国際交流	インドネシア共和国 学生劇団「en塾」の日本公演をサポート

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

基本方針に即し、とりわけ学科の教育目標、育成人材像が業界のニーズに対応できているか、カリキュラムは体系的に編成され、各教科目はカリキュラムの中で適正な位置付けされているか、卒業生就職率・求職者就職率・専門業界就職率の向上が図られているかなどの点を学校関係者評価委員からの評価を重視し、学校運営に活かす。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
藤井 卓	株式会社 タック	平成29年4月1日～ 平成33年3月31日(4年)	企業等委員
森田 晃壮	株式会社 東通インフィニティー	平成29年4月1日～ 平成33年3月31日(4年)	企業等委員
矢代 俊昭	株式会社 東通企画	平成29年4月1日～ 平成33年3月31日(4年)	企業等委員
三好 和也	有限会社 ちゆるんカンパニー	平成29年4月1日～ 平成33年3月31日(4年)	企業等委員
勝部 洵一郎	株式会社 MC企画	平成29年4月1日～ 平成33年3月31日(4年)	企業等委員
上原 隆博	株式会社 ネイブ	平成29年4月1日～ 平成33年3月31日(4年)	企業等委員
早田 和正	大阪府立金剛高等学校	平成29年4月1日～ 平成33年3月31日(4年)	高校教諭
小笠原圭彦	小笠原写真事務所	平成29年4月1日～ 平成33年3月31日(4年)	企業等委員
上村 直輝	スタジオ ユー	平成29年4月1日～ 平成33年3月31日(4年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) 公表時期 3月

URL:<http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校全般の状況を広く学校関係者他に情報提供することによって、学生・保護者、業界関係者の学校への理解、信頼を深め、社会に対する説明責任を果たす。また、企業、関係団体等とは連携、協力を行うことによって、カリキュラム策定の際に、助言、指導を頂き、実践教育の質を高めることを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	建学の精神、所在地、校長名、沿革・歴史
(2)各学科等の教育	設置学科の入学定員・収容定員・在学学生数、カリキュラム、進級・卒業要件、資格・検定
(3)教職員	教職員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6)学生の生活支援	健康診断、カウンセリング体制
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援活動
(8)学校の財務	資金収支計画書・消費収支計画書・貸借対照表
(9)学校評価	自己評価表
(10)国際連携の状況	インドネシア共和国 学生劇団「en塾」の日本公演をサポート
(11)その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.visual-arts-osaka.ac.jp/>

* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	カワバタ トモヒロ	所属部署	事務局
	氏名	川端 智大	役職名	事務長
	所在地	〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-23		
	TEL	06-6341-4407	FAX	06-6345-7266
	E-mail	kawabata@visual-arts-osaka.ac.jp		

(別紙様式2)

授業科目等の概要

(映像・音響専門課程 ミュージシャン学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			専攻実習 I	LM系各専攻パート（ボーカル、ギター、ベース、ドラムス、キーボード等）別に専門スキルを学ぶ。	1通	264			○	○			○		
○			アンサンブル I	アンサンブルを通じて、個人技能の確認とバンドアンサンブルでの役割を学ぶ。	1通	132			○	○			○		
○			レコーディングワーク I	録音技術の基礎を学び、デモテープ制作やレコーディングスタジオでの演奏技術を習得する。	1通	132			○	○			○		
○			作編曲講座 I	ポピュラー音楽に関する作曲法、編曲法をトータルに学ぶ。	1通	132	○			○			○		
○			副専攻実習 I	専攻楽器以外のパートを体験し、アレンジなどの基礎知識を習得する。	1通	66			○	○			○		
○			コンピュータ実習 I	近年の音楽制作に必修となるコンピューターと専門ソフトの使用法を制作実習も兼ねて学ぶ。	1通	132			○	○			○	○	
○			音楽概論	基本的なポピュラー音楽で使用される楽譜の基礎知識を学ぶ。	1通	66	○			○			○		
○			音楽研究	歴史的な映像や音源を視聴し、ミュージシャンとしての感性を高める。	1通	66	○			○			○		
合計			8科目		990単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
課題制作や試験等に合格し且つ卒業検定を受理されること	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

(別紙様式2)

授業科目等の概要

(映像・音響専門課程 ミュージシャン学科) 平成29年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			専攻実習 II	LM系各専攻パート（ボーカル、ギター、ベース、ドラムス、キーボード等）別に専門スキルを学ぶ。	2通	248			○	○				○		
○			アンサンブル II	アンサンブルを通じて、個人技能の確認とバンドアンサンブルでの役割を学ぶ。	2通	124				○	○			○		
○			レコーディングワーク II	録音技術の基礎を学び、デモテープ制作やレコーディングスタジオでの演奏技術を習得する。	2通	124				○	○			○		
○			作編曲講座 II	ポピュラー音楽に関する作曲法、編曲法をトータルに学ぶ。	2通	124		○			○				○	
○			副専攻実習 II	専攻楽器以外のパートを体験し、アレンジなどの基礎知識を習得する。	2通	62				○	○				○	
○			コンピュータ実習 II	近年の音楽制作に必修となるコンピューターと専門ソフトの使用法を制作実習も兼ねて学ぶ。	2通	124				○	○				○ ○	
○			作品研究	歴史的な映像や音源を視聴し、ミュージシャンとしての感性を高める。	2通	62		○			○				○	
○			教養講座	週替わりで、様々なパートの専門技術者をゲストに招き、リアルタイムな現場での体験談を学ぶ講座。	2通	62		○			○					○
合計																
				8科目	930単位時間(単位)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
課題制作や試験等に合格し且つ卒業検定を受理されること	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。